

内科 鼻からの内視鏡について



福本 学
鼻から喉を通

り、食道、胃

十二指腸の検査を行うものです。口から入ったカメラで舌や喉の奥を押されると、嘔吐反射が起こりますが、経鼻内視鏡では舌のつけ根にほとんど触れないので、反射もまずありません。

カメラの性能も向上しています。現在のスコープは先端の直径が約5ミリ程度で、食道での圧迫感
は格段に軽くなりました。観察は

もちろん、組織の一部を採る生検も、従来の内視鏡とほぼ同様に可能で、画質も通常の観察には問題のないレベルになりました。

症状がなくても定期的に検査を受けることが、早期の病気を見つけることにつながります。もし症状があるなら、一層早めのチェックが大切です。以前口からの内視鏡でつらい経験をされた方も、一度経鼻内視鏡を受けられると、大きな違いを実感されると思います。

新百合山手福本内科
☎955-8877